

支出項目

政務活動費

研修・会議費

2 月	年 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
8	3	経験からお伝えする議員に必要な絶対的チカラ他（長谷川議員）	25,000	25,000
11	28	・デジタルトランスフォーメーション時代の発想の流儀他（研修費3,000円） ・気候非常事態宣言の国際動向～カーボンニュートラル行動計画をどう作るか（研修費2,000円）（長谷川議員）	5,400	30,400
	28	気候非常事態宣言の国際動向～カーボンニュートラル行動計画をどう作るか（木山議員）	2,400	32,800
2	8	議会改革の新たなツール、オンラインの可能性を探る！（木山議員）	5,000	37,800
		合計	37,800	

政務活動報告書

令和3年3月31日

茅ヶ崎市議会議長
水島 誠司 様

(会派名) 絆・新しい風
(氏名) 長谷川 由美

政務活動の結果は、次のとおりでした。

資料依頼日	令和2年8月3日(月)
目的地 (研修地)	資料・音声データの提供による受講

政務活動の結果 (別紙のとおり)



絆・新しい風

長谷川由美

音声データの提供による受講

内容：「誰にも教えたくない極意 みんなが唸る議員の作り方」

絶対的質問力

講師：村山祥栄氏（大正大学地域構想研究所客員教授・京都市議会議員）

内容：表題「絶対「絶対的質問力」の表題の通り、「質問」について焦点を絞って、講義が進んだ。

情報収集の手法として、定期的に刊行される雑誌、ネット配信などの紹介。

専門家、市民、職員、時事に関することからの情報を得ること、質問から施策についての議論を深め、政策に結びつけるポイントが説明された。

議員は、とにかく多くの情報を得る必要があることが強調された。

実例として、アンケート調査について、京都市営地下鉄の終電時間の改正について、現地調査としてバスの走行環境について、当事者ヒアリングとして児童養護

施設の児童虐待について説明された。

いかに事実を確認し、その改善を政策にいかすかが必要である。

また、政策実現のためには、質問後の広報活動、継続的な取り組むについてのポイントが抗議された。

今回は、議員活動の中の重要な部分にあたる「質問」について、その作り方を、議員活動を行なっている現職議員の講師から聞ける機会となった。

議会と質問の設定の違いはあったが、調査や情報を集める点においては、ポイントは同じであるので参考になった。

まったく新しい視点は、見つけられなかったが、これまでの自分自身の活動と、照らし合わせながら考えることができた。講義に使われているプレゼン資料は、質問の組み立てについて、順番に理論立てて説明されているので、これを整理してトレースして役立てることができると感じた。

議員の質問は、「他者の多くの時間を奪っている」作業であることを認識すべきであるという講師の言葉は、まさにその通りと受け止めた。今後の活動につなげていきたい。

領 収 証

絆・新しい風 様 2020年8月3日

★

¥25,000

但 8/3 10:00～「経験からお伝える議員に必要な絶対的チカラ」

8/3 14:00～「経験からお伝えるアフターコロナの議員目線」

資料・音声データ代として

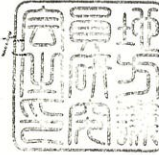
上 記 正 に 領 収 いた しま した

地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297



政務活動報告書

令和3年1月31日

茅ヶ崎市議会議長
水島 誠司 様

(会派名) 絆・新しい風
(氏名) 長谷川 由美

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和2年11月28日(土) 13時から15時00分
目的地 (研修地)	藤沢商工会議所ミナパーク6F 藤沢市藤沢607-1

政務活動の結果 (別紙のとおり)



絆・新しい風

長谷川由美

日時：令和2年11月28日（土）13：00～15：00

目的地：気候非常事態宣言の国際動向～カーボンニュートラル行動計画をどう作るか～

会場：藤沢商工会議所ミナパーク6F

内容：講師：山本良一氏（東京大学名誉教授）

近年の激しい気候変動からもわかる通り、世界規模の環境破壊が進み危機的な状況である。このことに対応するために、国内でも35を超す自治体が、「気候非常事態宣言」を行った。さらに、多くの自治体の宣言が求められていることから、危機的な現状と社会的な動き、具体的な行動についての講演が行われ、講師の著書がテキストとして配布された。

考察

本市の活動との比較

今後の可能性

・この講演会の主催は、特定非営利活動法人プラスチックフリージャパンである。この団体は、鎌倉を拠点に活動しており、神奈川県同様に鎌倉市は、SDGs 未来都市に選定されるなど、積極的な取り組みを進めて来た。これは、観光地としての鎌倉のイメージに加え、世界的な環境問題解決への積極的取り組みによって、好印象をあたえていると考える。

湘南の各市は、相模湾に面し、海洋、海岸の環境課題について、直接的な所管ではないにせよ、まちのブランディングと、イメージ戦略のためにも、取り組みが欠かせない。また、このような地域から、環境問題への取り組みを力強く発信することは、全体に良い影響を与えられると考える。

・講演においては、講師のこれまでの経験から言っても、ここ数年の世界の環境問題に関する

(もちろん気候変動を筆頭に) 感覚は大きく変わったこと。グレタ・トゥーンベリーさんのメッセージが、若年層、若者を大きく動かし、原動力となったことなどが紹介された。

・日本国内でも気候非常事態宣言を自治体が次々と発出するなどの取り組みが進んでいる。これをさらに進めることで、意識の変革を促し、実質的な環境問題への取り組みを進めることが期待できるとのことであった。

・当日は、藤沢市より副市長も出席され、自治体議員の参加も多くみられ、関心の高さがうかがわれた。

茅ヶ崎市においても、気候非常事態宣言について検討し今後の活動に繋げることは有意義であると考え。また、宣言のみにとどまらない活動を進めるためには、市民の活動団体との連携や、青少年が活動できる機会を多く設けること。学習につなげることが有効であると考え。

資料

『気候危機』山本良一 岩波ブックレット No.1016 2020 年、『気候非常事態行動計画作成ガイドブック』山本良一 特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン 2020 年

政務活動報告書

令和3年1月31日

茅ヶ崎市議会議長
水島 誠司 様

(会派名) 絆・新しい風
(氏名) 長谷川 由美

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和2年11月28日(土) 15時から17時30分
目的 地 (研 修 地)	相澤ビル8階会議室 藤沢市南藤沢22-7

政務活動の結果 (別紙のとおり)



絆・新しい風

長谷川由美

日時： 令和2年11月28日（土）15：00～17：30

内容： FBF11月定例会「コロナ禍で露呈したデジタル後進国日本！

DX、AI等のテクノロジー導入加速と湘南ビジネスの方向性を考える」

会場： 藤沢相澤ビル8F

講師： 箕浦龍一氏（総務省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官、内閣官房内閣審議官 IT 総合戦略室長代理）

川村直毅氏（NTT DATA 先端技術(株)ソフトウェアソリューション事業本部担当部長）

内容： FBF（藤沢ビジネスフォーラム）は、Facebook を利用した異業種交流会で、月例会には時事に合わせて講演会などが行われている。今回は総務省、および通信業界で現役で活動される2名の講師によるもので、DX(デジタルトランスフォーメーション)、5Gの普及、利用について取り上げられた。

まず、箕浦氏が「DX って何だ！？わかりやすく考えてみるこれからの社会の仕組みの変わり方」をテーマに、わかっているようで、理解されていない「DXが何をしようとしているものなのか？」について解説がなされた。続いて、5Gの利用が目指すところについて、河村氏より、解説された。

考察

本市の活動との比較

今後の可能性

・DXと5Gについては、これまでのやり方などからは、思考を切り離し、捉え直す必要性を改めて考えさせられた。デジタル化と言いつつも、実は機器の入れ替えに過ぎなかったり、これまでの方法（書面など）と並行した使い方で、結果アウトプットの見栄えが違っただけということも多いと考えられる。業務の効率化についても、これまでの百倍単位を想定した考えでの取り組みこそがDXには求められる。

例えば、何かの手続きをオンライン化することは、手段の変更である。DXで目指すのは、そのオンライン化により派生する情報を多面的活用などにまで広げること、効率的に利活用することである。場合によっては、その「手続き自体をなくす」展開もありうる。

・5Gの利用については、AIも含めできることの範囲が圧倒的に変わる。やり取りできる情報量の桁が違う。これを行政、市町がついていけるのか不安になるほどだ。

・茅ヶ崎市では、コロナ禍でやっとオンライン会議の利用が始まったところだ。しかしテレワーク、ワーケーションなどにより、移住先、定住先として注目されるまちであり続け、人口減少時代に立ち向かうためには、行政も大きな変化に挑戦をすることが、発展につながると考えられる。

・コロナ禍による影響は甚大だが、まさにデジタル化が遅れた日本にとっては、腰の重い活動を進めるチャンスとも考えられる。世界からも注目される仕事と生活の両立を実現するまちとなるために、茅ヶ崎市にとっても取り組みが必要である。

出張旅費計算書

摘要	<ul style="list-style-type: none"> ・気候非常事態宣言の国際動向 ・デジタルトランスフォーメーション時代の発想の流儀・人口知能と5G 			出張者氏名	長谷川 由美		
	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市商工会議所 藤沢市藤沢607-1 ・相澤ビル8階会議室 藤沢市南藤沢22-7 						
期日	令和2年11月28日(土)			会派名	絆・新しい風		
経路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎—藤沢 (JR東海道線)		1	/	7.5	200		400
藤沢—茅ヶ崎 (JR東海道線)				7.5	200		
計		1	0	15.0	400	0	(A) 400
日当	1		日×@	0		(B)	0
研修費	1		日間			(C)	2,000
研修費	1		日間			(D)	3,000
合計	(A)~(D) 3,400			×	1		5,400

領収証

様 2020年 11月 28日

¥ 2,000.-

但 セミナー代として
上記正に領収いたしました

神奈川県鎌倉市御成町11番40号

内訳
税抜金額
消費税額等 (%)

特定非営利活動法人プラスチックフリー
代表理事 小島 政

領収証

絆・新しい風 様

2020年11月28日

¥3,000.-

但し 定例会参加費



藤沢ビジネスフォーラム
藤沢市鵜沼石上 1-8-1



政務活動報告書

令和3年3月31日

茅ヶ崎市議会

議長 水島 誠司 様

(会派名) 絆・新しい風

(氏名) 木山 耕治

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和2年11月28日
目的 地 (研 修 地)	藤沢市商工会議所ミナパーク6

政務活動の結果 (別紙のとおり)



令和3年3月31日

絆・新しい風 木山 耕治

「気候非常事態宣言の国際動向 カーボンニュートラル行動計画をどう作るか」研修レポート

表題につきまして、先日受講のについての研修に関する報告をいたします。

記

1. 研修の名称：「気候非常事態宣言の国際動向 カーボンニュートラル行動計画をどう作るか」

2. 研修会場：藤沢商工会議所ミナパーク6F

3. 研修日時：令和2年11月28日

4. 研修参加者：特定非営利活動法人プラスチックフリージャパン、藤沢市副市長、市区町村議員・職員・大学教授など

5. 研修内容：

第一部 「気候非常事態宣言の国際動向 カーボンニュートラル行動計画をどう作るか」

講師 東京大学名誉教授 山本良一

第二部 環境ジャーナリスト明石純子と小島政行とのクロストーク

6.研修での習得事項および感想

2015年12月、産業革命以前と比較し、世界の気温上昇を2°C未満、できれば1.5°C未満に抑えることを目標に定めた「パリ協定」が採択された。これを実現するため、日本を含む主要先進国は、2050年に温室効果ガスを80%削減するという高い目標を掲げている。世界各国がカーボンニュートラルへ舵を切る中、実際に我が国としてこの約30年の間に脱炭素社会の実現は可能なのか、また自治体レベルで実現に向けた行動計画をどのように立案し、具現化していくのかが問題である。

今回の研修では、気候非常事態宣言を初めとする世界各国の気候変動に対する考え方や、今後数十年の指針を再確認することができた。

具体的に地方自治体としてカーボンニュートラルに向け、現状を踏まえた行動計画をどう作るかのヒントは得られなかったが、今後はこれらをもとに本市の市議会でも活用できるか、どう実現できるかをさらに調査・研究していきたいと思う。



出張旅費計算書

摘要	気候非常事態宣言の国際動向 カarbon ニュートラル行動計画をどう作るか			出張者 氏名	木山 耕治		
	藤沢市商工会議所ミナパーク 6						
期日	令和2年11月28日(土)			会派名	絆・新しい風		
経路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎ー藤沢 (JR東海道線)		1	/	7.5	200		400
藤沢ー茅ヶ崎 (JR東海道線)				7.5	200		
計		1	0	15.0	400	0	(A) 400
日当	1 日 × @			0	(B) 0		
研修費	1 日間			2,000	(C) 2,000		
合計	(A)~(C) 2,400			×	1	2,400	

領収証

絆・新しい風

様 2020年 11月 28日

¥ 2,000 -

但 エシターと(2)

上記正に領収いたしました

神奈川県鎌倉市御成町11番40号

内訳 _____

税抜金額 _____

消費税額等 (%) _____

特定非営利活動法人プラスチックフリージャパン

代表理事 小島 政



政務活動報告書

令和3年3月31日

茅ヶ崎市議会

議長 水島 誠司 様

(会派名) 絆・新しい風

(氏名) 木山 耕治

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和3年2月8日
目的 地 (研 修 地)	オンライン研修 (ZOOMアプリケーションによる)

政務活動の結果 (別紙のとおり)



令和3年3月31日

絆・新しい風 木山 耕治

「議会改革の新たなツール、オンラインの可能性を探る！～取手市議会のリアルトークから学ぶ～」研修レポート

表題につきまして、先日受講のについての研修に関する報告をいたします。

記

1. 研修の名称：「議会改革の新たなツール、オンラインの可能性を探る！～取手市議会のリアルトークから学ぶ～」

2. 研修会場：オンライン研修（Zoomアプリケーションによる）

3. 研修日時：令和3年2月8日

4. 研修参加者：全国都道府県市区町村議員・職員・大学教授など

5. 研修内容：

第一部 「コロナ禍の議会とオンラインの可能性」

北川 正恭（早稲田大学名誉教授） 廣瀬 克哉（法政大学教授）

「全国の議会のオンライン活用状況報告」

中村 健（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）

第二部 「取手市議会リアルトーク～どこでもできる議会のオンライン～」

齋藤 久代（取手市議会議長） 結城 繁（取手市議会副議長） 遠山 智恵子（取手市議会議員） 赤羽 直一（取手市議会議員） 染谷 一博（取手市議会議員） 山野井 隆（取手市議会議員） 根岸 裕美子（取手市議会議員） 吉田 文彦（取手市議会事務局長） 土谷 靖孝（取手市議会事務局長補佐） 岩崎 弘宜（取手市議会事務局次長）

6. 研修での習得事項および感想

新型コロナウイルスへの危機対応に関して、世界各国の感染者動向を見てみるとワクチン接種により劇的にリスクが低下しているとのデータが出てきていることから、この日本においても今後ワクチン接種が進めば、最悪の事態を免れられるだろうという展望が見えてきてはいるが、市民の命を守べき地方自治体においては、行政も議会も常に最悪の事態を想定し、行動しなければなりません。

また世界各地で変異型のウイルスが次々と確認されているが、仮に今以上に感染力が高く、致死性も高い更なる変異型が発生した場合の準備もしておかなければなりません。

危機に直面した時、議会に求められる役割として

1. 大きな資源配分の迅速な決定

- ・ 平年には考えられない規模の財源措置
- ・ 他事業の優先順位を下げての人員の緊急配置
- ・ 迅速が拙速にならない担保としての議会審議
- ・ 行政には負担になるが意味のある負担

2. リスクコミュニケーションの場になること

- ・ 正確な情報、分析を広く住民に伝える
- ・ 責任ある広報の場、質疑応答を伴う情報伝達

などが挙げられます。

有事の際でも、議会として実質的な審議機能を確保するためには「オンラインツールの活用」が効果的であり、そのためには議会として法的課題をクリアし、対応することが必要です。

今回取手市議会の先進事例をもとに、議会がオンラインツールを活用し議会としての機能維持を図ることの意義や手段、可能性について学ぶことができたので、今後はこれらをもとに本市の市議会でどう活用できるか、どう実現できるかをさらに調査・研究してまいりたいと思います。

領収データ - 【LMオンライン研修会】 議会改革の新たなツール、オンラインの可能性を探る！~取手市議会のリアルトークから学ぶ~

発行日

2021年4月6日

宛名

絆・新しい風

合計

¥5,000

但し

チケット代金

文日

2021年1月29日

注文番号

11270245

主催者

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (ローカル・マニフェスト推進連盟)

イベント名

【LMオンライン研修会】 議会改革の新たなツール、オンラインの可能性を探る！~取手市議会のリアルトークから学ぶ~



--	--